

## 油流出事故 対策訓練実施

オイルフェンス設置訓練

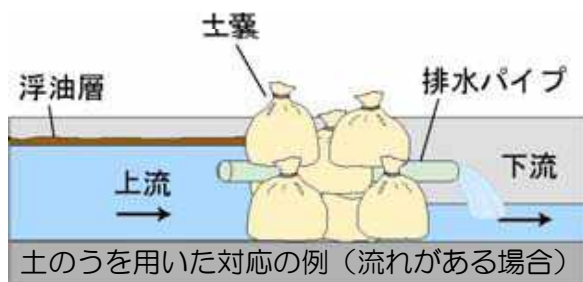
北上川水系水質汚濁対策連絡協議会上流支局（上流支局長：岩手河川国道事務所長）では、毎年、岩手県内の関係機関で油流出等の水質事故を想定した訓練を実施しています。今年は、11月11日（月）に訓練を実施しました。訓練では、オイルフェンスの設置や油回収の方法等について手順を確認し合い、技術の習熟に努めました。

### 水路等流出拡散防止工設置方法実演

#### 【水路等で水の流れる場合の対応の例】



実演の様子



◆水が流れている場合は、土のうで堰き止めるだけでは上流側の水位が上昇して溢れる危険があるため、下層に水を通す管を配置し、水位を一定に保つように工夫する。

◆作業手順は、まず土のうを水路の下層部に積み、その上に管を設置後、さらに上から土のうを積んで固定する。管の本数が多いと水位が低下し、少ないと越流してしまうため、流量に合わせ調整する。

◆土のうを積み終えた後は、水位を管よりも高い位置に保つために、一時的に管に栓をし、水位を上昇させた後に栓を外す。

岩手県内の北上川流域では、毎年50～80件程度の油漏れなどの通報があります。今年は、30件（10月末）の通報がありました。



普段から油を使用している工場や工事現場などでは、定期点検に努めて下さい。また、11月に入り一般家庭でもこれから灯油等の取り扱いが増える時期になり、暖房器具を使用するため、油流出事故の発生増加が懸念されます。河川へ流出させないように、ご注意をお願いします。

#### ◆油が流出してしまうと

河川より、水道や各種用水などに取水ができなくなり、多くの方面に大きな影響を及ぼします。

#### ◆原因者に回収費用を請求することになります

事故が発生すると、油の回収、オイル吸着物の設置等多くの人手をかけて対応に当たります。その費用は原因者に負担いただくことになります。

#### 編集後記

油流出などの水質事故は、対策が遅れると時間・労力・コストが大きくなってしまいます。灯油を小分けする際は「その場を離れない、目を離さない」など日頃から注意を払いましょう！（と）